

# 静岡県教育委員会

## 議事録

令和5年度 第11回定例  
9月6日（水）

静岡県教育委員会教育長 池上重弘は、

令和5年9月6日に教育委員会第11回定例会を招集した。

1 開催日時 令和5年9月6日（水） 開会 10時00分  
閉会 10時10分

2 会場 教育委員会議室

3 出席者 教 育 長 池 上 重 弘  
委 員 藤 井 明  
委 員 伊 東 幸 宏  
委 員 小 野 澤 宏 時  
委 員 天 城 真 美

事務局（説明員） 水 口 秀 樹 教育部長  
塩 崎 克 幸 教育監  
宮 崎 文 秀 理事（政策管理担当）  
吉 良 光 陽 理事（新図書館担当）  
本 多 伸 治 参事（学校教育担当）  
井 出 好 彦 教育総務課長  
秋 野 薫 教育政策課長  
大 澤 篤 教育DX推進課長  
上 原 啓 克 財務課長  
内 山 成 一 教育厚生課長  
山 川 和 成 教育施設課長  
戸 塚 康 史 義務教育課長  
中 山 雄 二 高校教育課長  
高 橋 和 彦 特別支援教育課長  
夏 目 伸 二 健康体育課長  
藤ヶ谷 昌 則 社会教育課長  
金 嶋 克 年 新図書館整備課長  
室 伏 伸 明 静岡教育事務所長  
大 根 富 木 静岡西教育事務所長  
杉 山 禎 総合教育センター所長  
柴 雅 房 中央図書館長  
江 本 光 徳 義務教育課指導監

#### 4 その他

(1) 報告事項は了承された。

#### 【開 会】

教 育 長： ただ今より、教育委員会定例会を開催する。

今回の議事録の署名は、私のほか、小野澤委員にお願いする。

## 報告事項 1 ふじのくに中学校 1 次募集結果及び 2 次募集

教 育 長： 報告事項 1 「ふじのくに中学校 1 次募集結果及び 2 次募集」について江本義務教育課指導監より説明願う。

義務教育課指導監： < 報告事項について説明 >

教 育 長： 質疑等はあるか。

藤 井 委 員： 募集人員が合計で 20 ということだが、磐田本校においては、その半分とするならばそれに近い動きがあったという理解でよろしいか。

義務教育課指導監： そのような理解で間違いない。

藤 井 委 員： 周知について、もう少し工夫に余地があるのではないかと思う。例えば、在留届を出される外国の方がいる場合、その窓口に置いておくとか、在留届を出す段階で自動的に窓口の方が一言説明を加えるなど。もちろん、外国人だけではないが、周知をする手段が多く残されていると思う。

義務教育課指導監： 御意見を参考に、関係市町と協力しながら検討していきたい。

教 育 長： 外国の方も住民登録に一元化されているので、住民登録の窓口でということであるが、難しいのは、夜間中学校の場合は、理論上は学齢期以上、それこそ、80代、90代の方々も対象になる。その対象者の見極めというのが難しい。ただ、潜在的な対象者ということであれば、1枚チラシのようなものを幾つかの言語で配布するというのは十分に検討の余地があると思う。

藤 井 委 員： 8月の末に1都9県の委員協議会があり出席した。その時の主なテーマがリカレント教育ということであった。各都県必ずしも先進的な取組というのはなく、静岡も決して充実した体制が整っているわけではないが、ふじのくに中学の話をした時に、他県の方から、それはぜひとも真似をしたいという話があった。リカレントという考え方からすると一つの手段として有効であると感じた。

教 育 長： 他に質疑等はあるか。

全 委 員： (特になし)

教 育 長： 報告事項 1 を了承する。

教 育 長： 以上で、本定例会の議事は全て終了した。  
これをもって、令和 5 年度第 11 回教育委員会定例会を閉会とする。